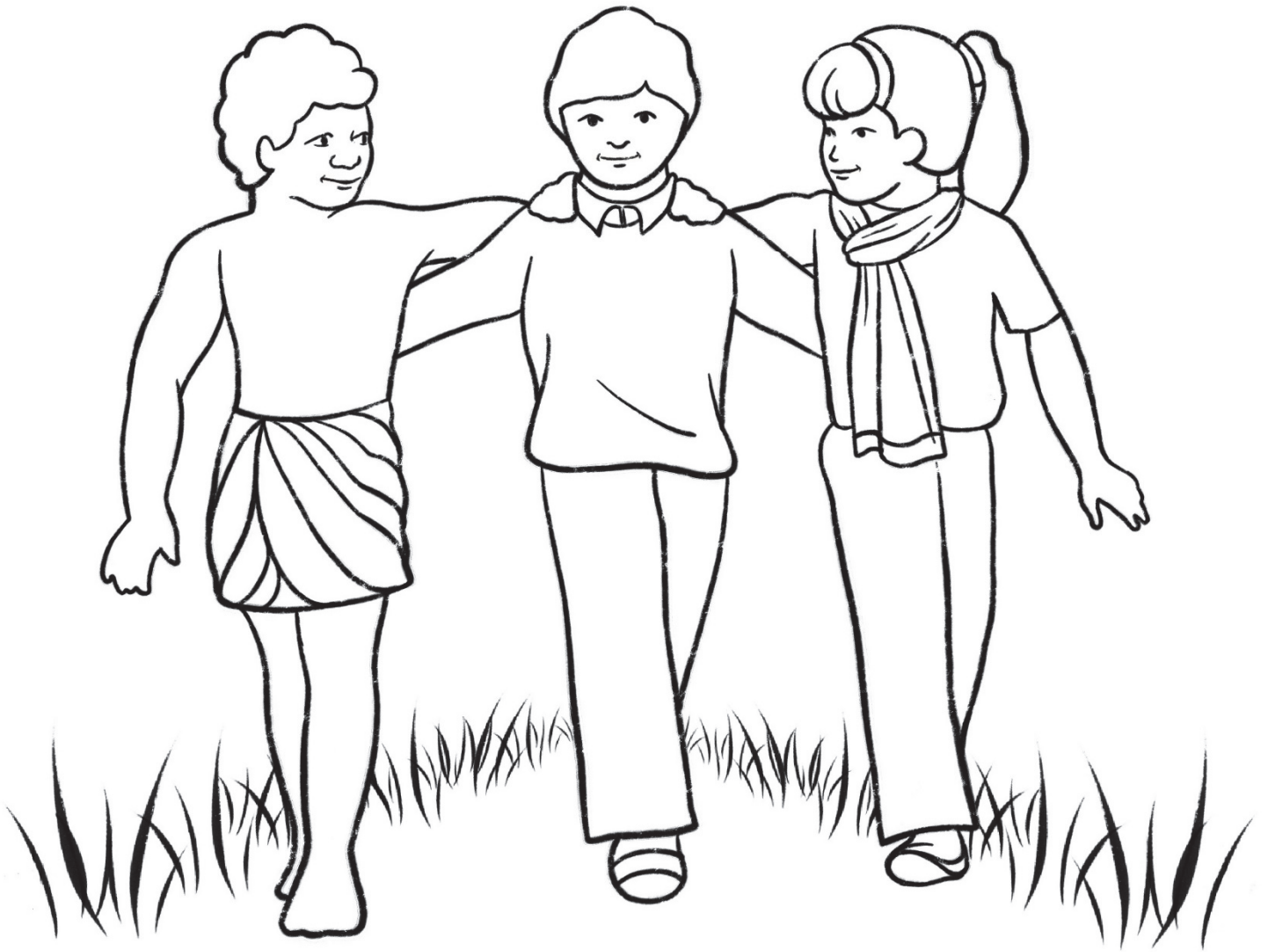
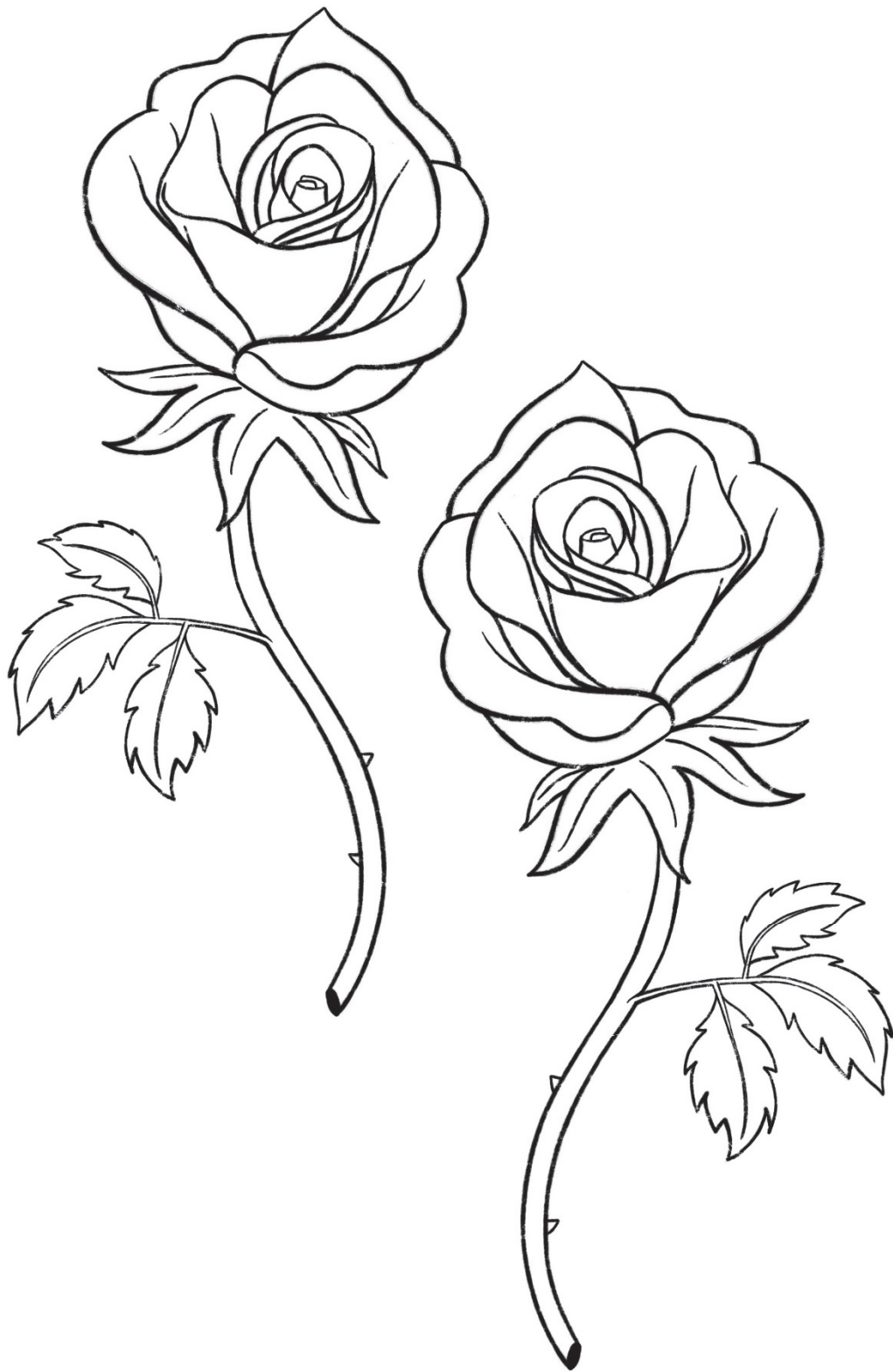


お^{しんれい}心^{れい}霊^{れい}の子^こよ！わが^{ちゅうげん}第^{だい}一^{いち}の忠^{ちゅう}言^{げん}は^これ^であ^る。
す^{じゅんすい}な^{すい}わ^{すい}ち、純^{じゅん}粹^{すい}に^して^して^て優^{やさ}しく、ま^{かがや}た^か輝^かかし^きき^こ心^こを^も持^もて。



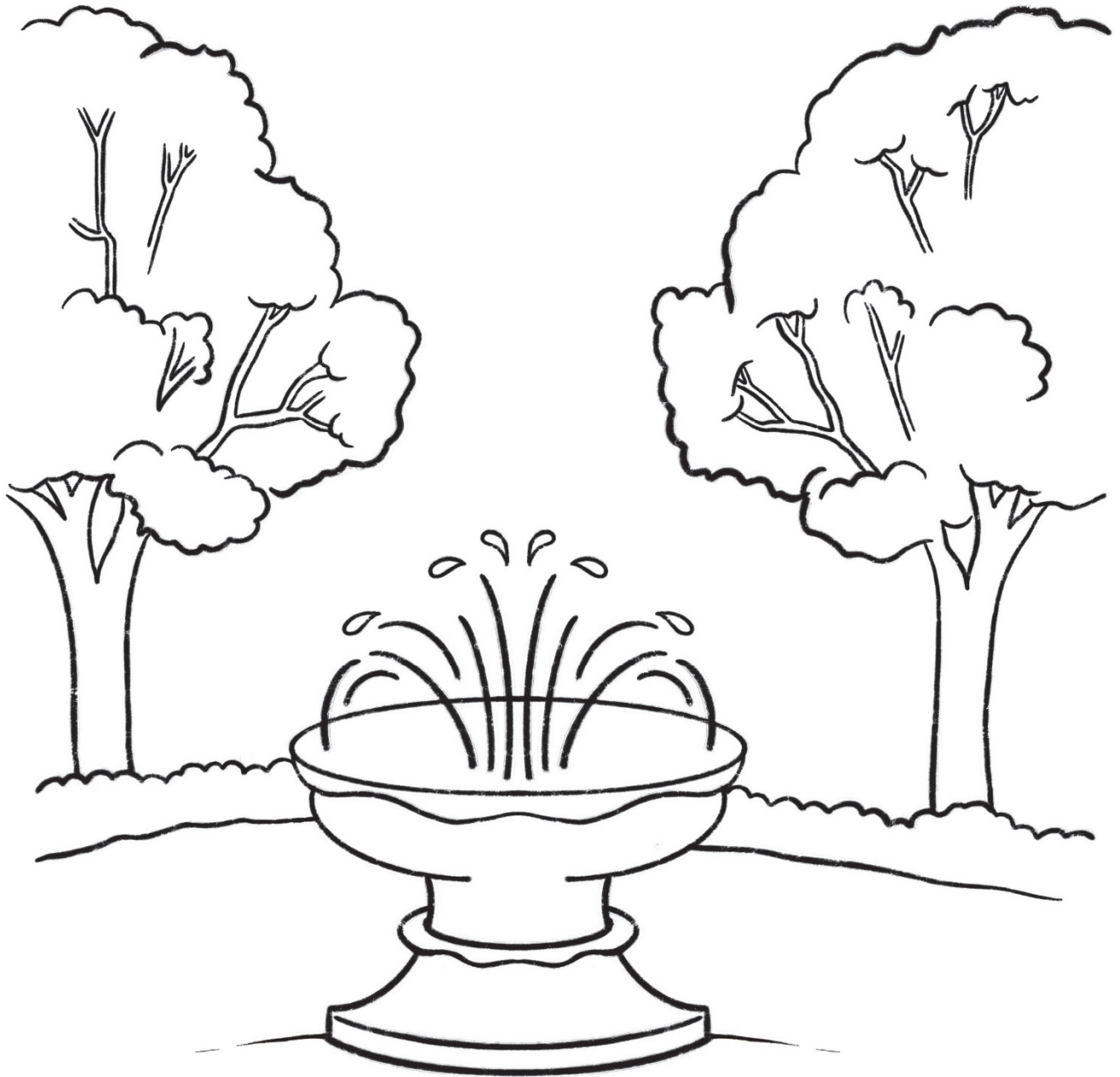
せいぎ みち まこと
正義の道を歩みなさい。誠にそれはまっすぐな道である。



おお、友よ！^{なんじ} 汝の心^{ほなぞの}の花園に愛^うのバラのみを植えよ。



せいじつ びとく きそ
誠実であることは、すべての美徳の基礎である。



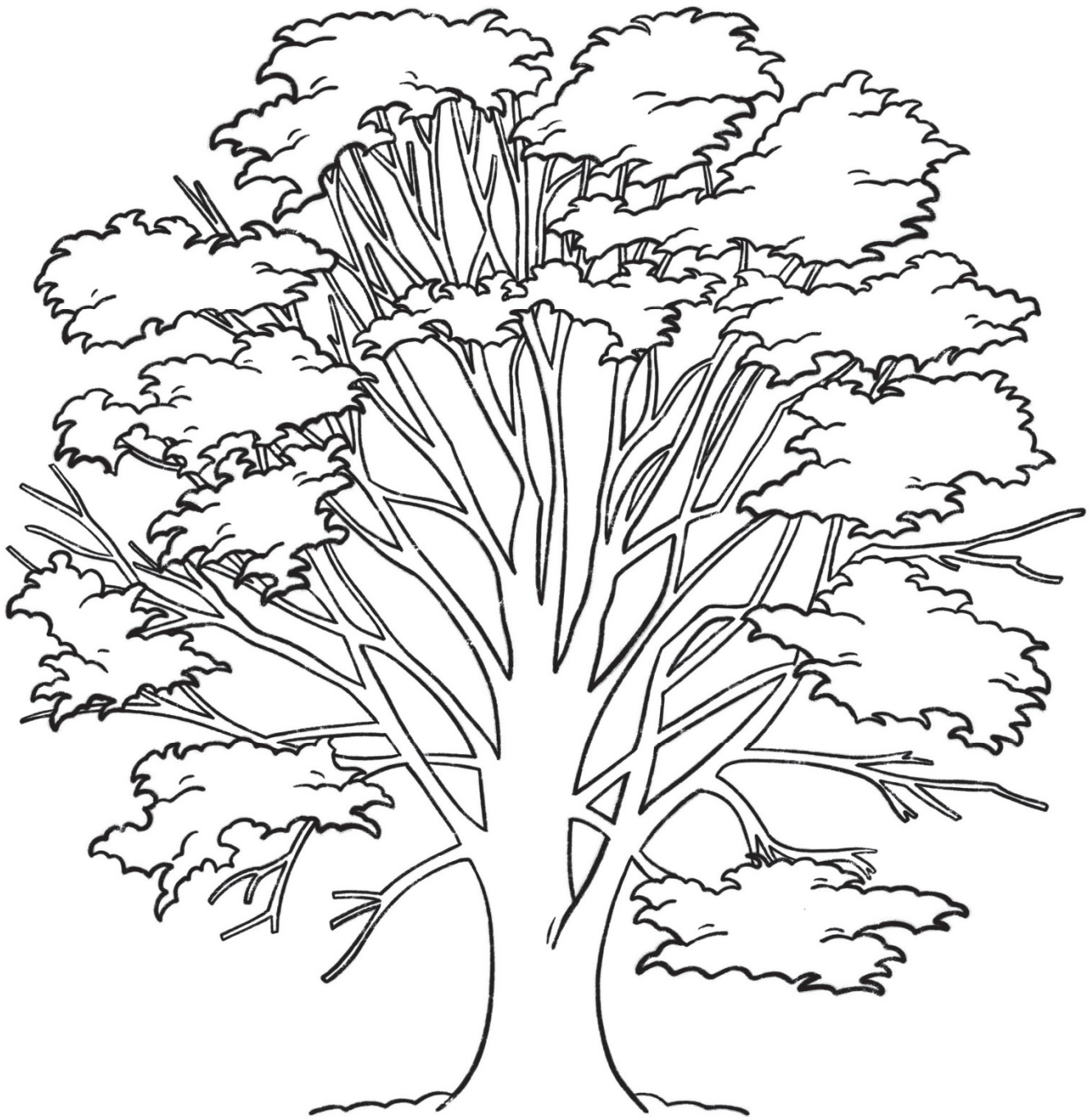
せよ かんだい ぞくせい
施与と寛大とはわが属性である。
びとく じこ かざ さいわ
わが美德をもって自己を飾る者は幸いである。



おのれ どうほう この さいわ
己よりも同胞の方を好む者は幸いである。



おお人の子よ! ^{なんじ} 汝われに会い、
^び わが美を反映するに ^{はんえい} 相応しく ^{ふさわ} なるよう ^{よろこ} 汝の心に喜びを持て。



私たちは、どんな時でも誠実と誠意を表さなければなりません…。



おお人の子よ！わが前にへりくだれ。さればわれ汝^{なんじ}を恵^{めぐ}み深く訪^{ふか}わん。



しあわ 幸せでありなさい。かんしゃ 感謝しなさい。かみ 神に感謝するために立ち上がれば、
その感謝の気持ちはさらなる恵めぐみをもたらすでしょう。



ゆる じ ひ ちょうあい
許しと慈悲、そして、神の寵愛を受ける者の
心に喜びをもたらすものをもって自身の飾りとせよ。
じしん かざ



おお人々よ。正直しょうじきをもって自らの口みづかを美しくせよ。真実しんじつをもって魂たましいを飾る装飾そうしょくとせよ。



神の王国は、^{びょうどう}平等と^{せいぎ}正義、すべての人に対する^{じひ}慈悲、^{おもひやり}思いやり、^{つく}親切のうえに創られる。



なんじ しん かざ
汝の真の飾りは、
神への愛と、神以外のすべてのものに囚とらわれないことにあることを知りなさい…。



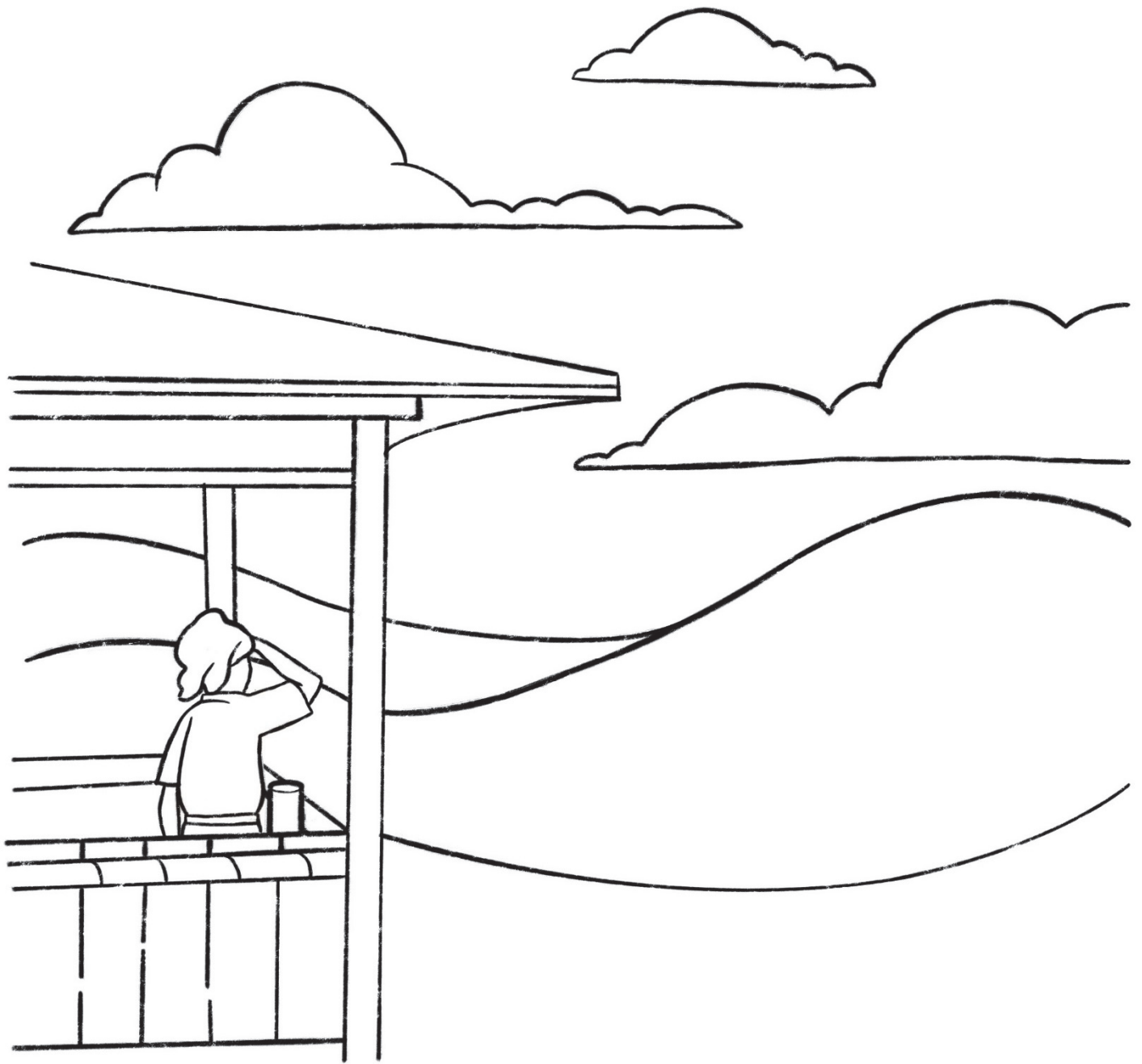
えいこう みなもと
栄光の源とは、
かみ さず たも 神が授け給うものをすべて受け入れ、
さだ 神が定め給うことに満足することである。
まんぞく



しじょう しんせつ あい せいしん ぼんにん まじ しゆくふく
至上の親切と愛の精神をもって万人と交わる者に祝福あれ。



ゆうき ちから みなもと かみ ことば あい かつこ
勇気と力の源は、神の言葉を広め、神の愛に確固としていることである。



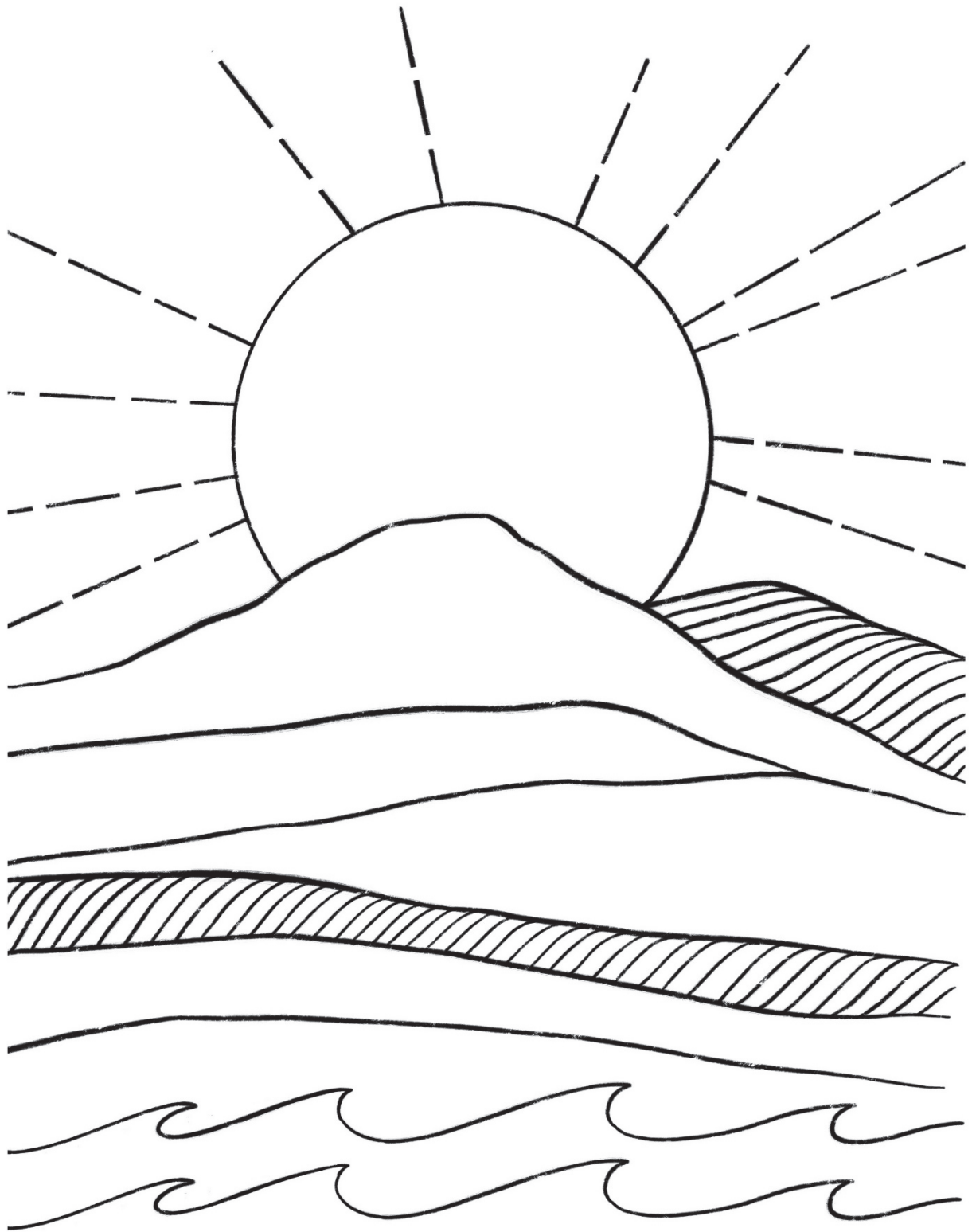
なんじ かみ しんらい けつ うしな つね きぼう
汝、神への信頼を決して失うことなきように。常に希望を持て。
なん おんちよう とだ そそ
何となれば、神の恩寵は決して途絶えることなく人間の上に注がれているからである。



しんらいせい へいおん あんぜん みちび さいだい もんこ
信頼性は人々を平穏と安全に導く最大の門戸である。



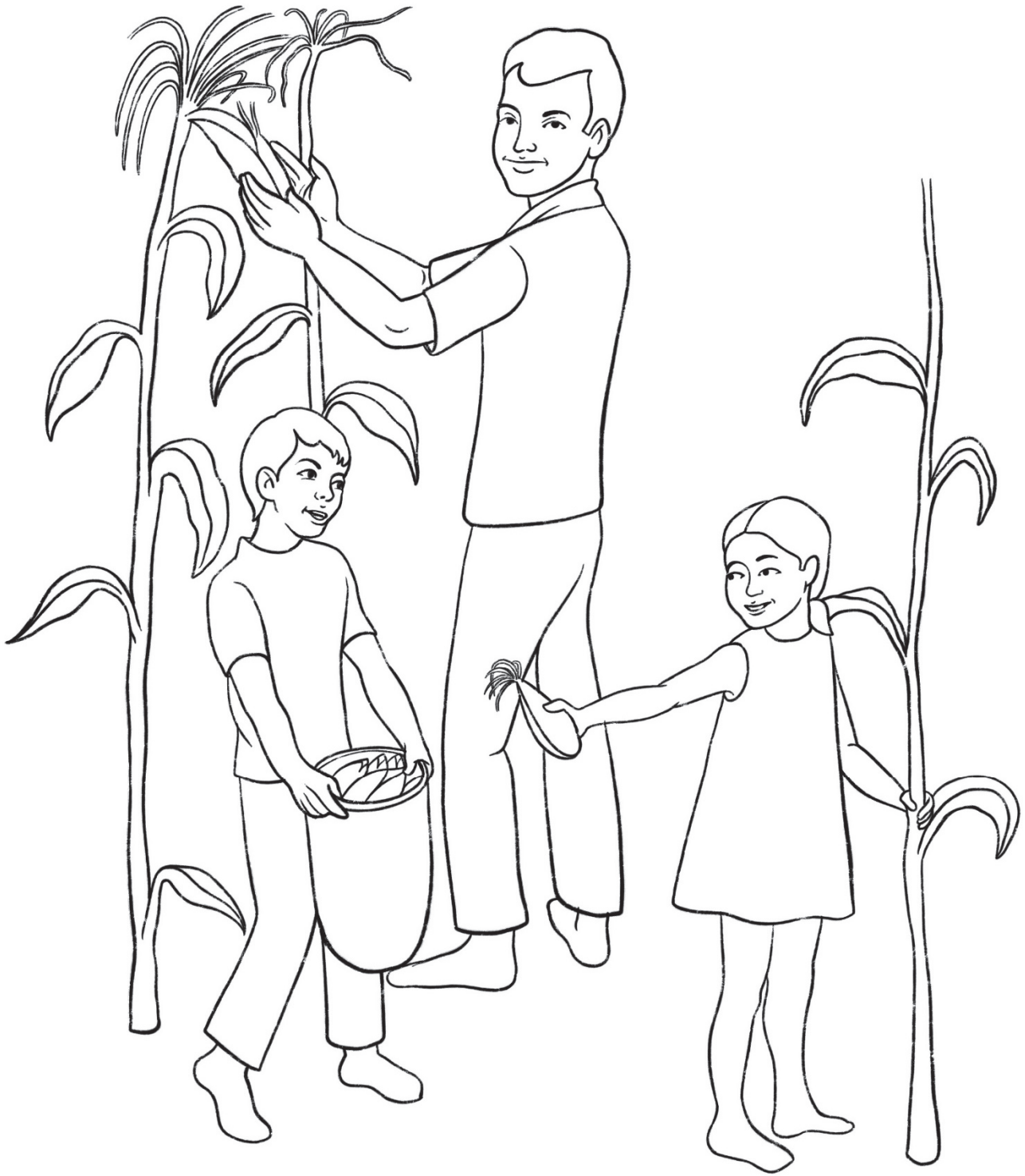
お^{ひと}お、人々よ、
他^この人々の心^こを燃^もえ立^たたせることができるように、神^あの愛^いの熱^ねで燃^ねえ立^ちちなさい。



じつざい
おお実在の子よ！

なんじ
汝はわがランプであり、わが^{ひかり}光は汝のうちにある。汝それより汝の^{かがや}輝きを得よ。^え

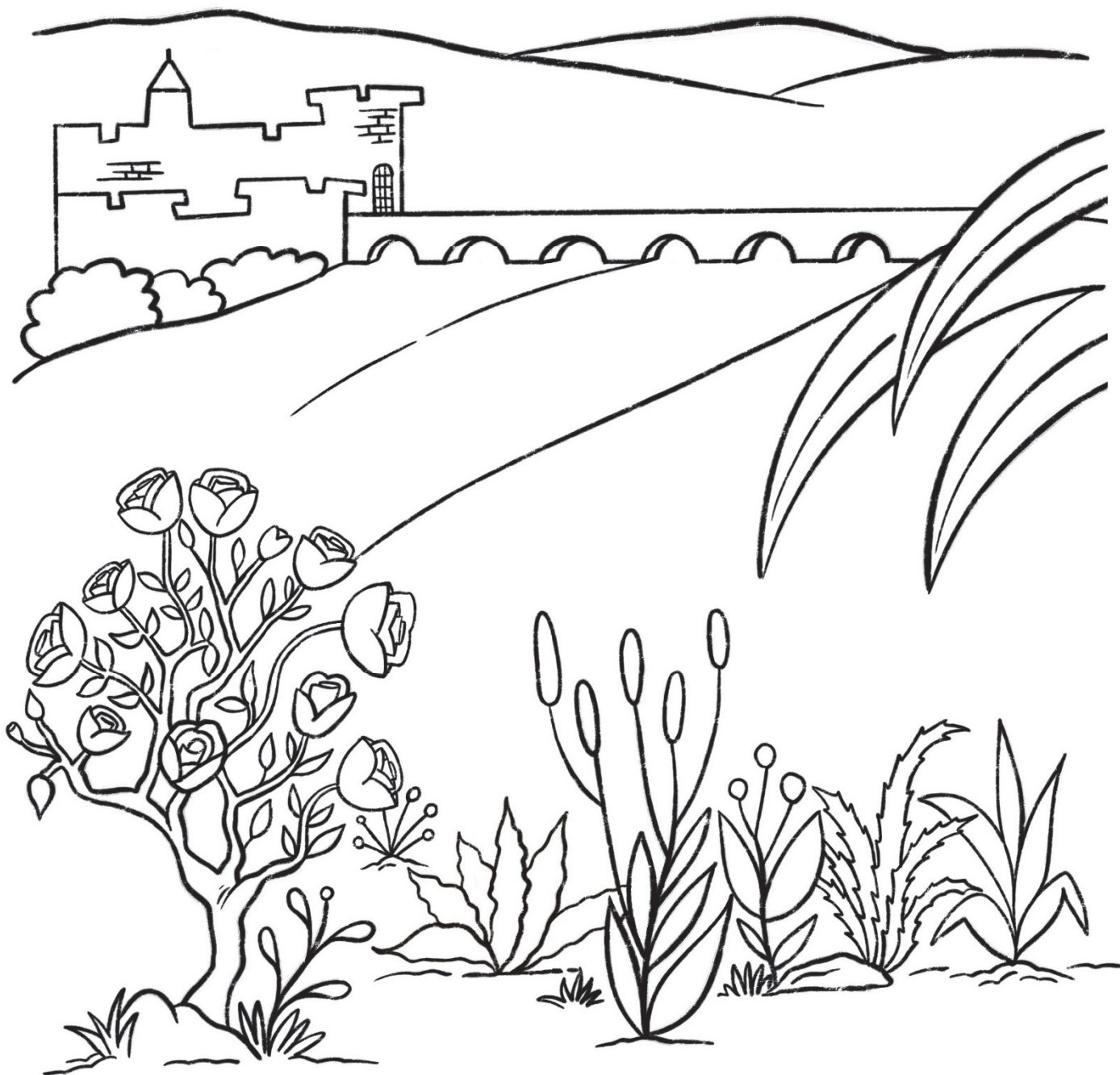
そしてわれ以外に何ものをも^{もと}求むるな。



おお どりよく という いふく で せいそう 盛装し、
この大業へ たいぎょう 奉仕 ほうし するために ちゅうじつ 立ち上がった さいわ 忠実なる者は幸いなり。



まこと にんたいづよ た ほうしゅう ま たも
誠まことに、神にんたいづよは忍耐た強く耐たえるもののの報酬ほうしゅうをまいや増たもし給うう。



なんじ しゅ たいぎょう かっこふどう つづ ちい さいこう すうこう
汝の主の大業に確固不動であり続けるならば、 汝の地位は最高に崇高なものとなろう。